

## 貸借対照表

(令和4年 3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>677,157</b>	<b>流動負債</b>	<b>163,242</b>
現金及び預金	373,318	買掛金	24,867
売掛金	286,390	短期借入金	20,000
商品	1,019	未払金	3,154
仕掛品	1,654	未払費用	9,083
貯蔵品	1,097	前受金	2,917
前渡金	5,626	預り金	5,352
立替金	214	未払法人税等	115
前払費用	5,869	未払消費税	14,752
未収法人税等	3,654	賞与引当金	81,775
貸倒引当金	△ 1,688	役員賞与引当金	1,224
<b>固定資産</b>	<b>10,957</b>	<b>固定負債</b>	<b>3,770</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,129</b>	役員退職慰労引当金	3,770
建物付属設備	1,604		
工具器具備品	525	<b>負債合計</b>	<b>167,012</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>7,011</b>	<b>(純資産の部)</b>	
電話加入権	489	<b>株主資本</b>	<b>521,102</b>
ソフトウェア	6,521	<b>資本金</b>	<b>30,000</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,817</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>491,102</b>
敷金	1,795	利益準備金	5,899
保証金	10	その他利益剰余金	485,203
預託金	12	別途積立金	200,000
		繰越利益剰余金	285,203
		<b>純資産合計</b>	<b>521,102</b>
<b>資産合計</b>	<b>688,115</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>688,115</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切捨てて表示している。

## 注記事項

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品	…	個別法による原価法
仕掛品	…	個別法による原価法
貯蔵品	…	個別法による原価法

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

平成 28 年 4 月 1 日以降取得した建物付属設備及び構築物	…	定額法
上記以外	…	定率法

##### (2) 無形固定資産

… 定額法

#### 3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 … 売掛債権等の貸倒れに備えるため、一般債権については法人税法の規定による法定繰入限度額により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
- (2) 役員退職慰労引当金 … 役員の退任慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給相当額を計上している。
- (3) 賞与引当金 … 従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額の当期負担分を計上している。
- (4) 役員賞与引当金 … 役員の賞与の支給に充てるため、支給見込額の当期負担分を計上している。

#### 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 消費税等の処理方法

税抜方式によっている。

### II. 当期純損益

当期純利益 59,351千円